

中間アウトカム

成長・発達に対する課題又は障がいのある子どもが、差別・偏見・誤解等により排除されることなく、人として尊重され、社会参加できる

平成27年7月21日指標検討ワークショップ

障がいのある子が、将来の夢を語れる

差別・偏見・誤解のない日常	中間 市民の多くが(他市と比べ) 障がいやその福祉教育について知っている
障がいのある子どもが学校でいじめられていないかどうかの数	近隣が仲良くなれば理解力が向上する

地域の行事に自分から参加し、楽しんでいる
参加・活動ができなかった事がないか
社会参加の仕方が多数示されている
皆が地域で一緒に育つ

<保護者・当事者> 障がいについて普通に話せる
外見で分からない障がいの有無をどうするか
学級懇談会で自分の子どもの発達の心配について、他の保護者にも相談できている

社会の中で孤立していないと感じていないか
家族と語れる
お友達と語れる
誰にでも声をかけられる
困り感を必ず誰かがフォロー
近所の人々に名前を覚えてもらい、声をかけてもらえる

自分 が 所 属 で き る 場 所 が あ る	適正就学がない
	希望する保育所、幼稚園、学校に通うことができる
	希望する職業に就けるか(就業率)
	個々の希望する仕事に就いている割合が高い
	自立という点で働く場所であるかどうか

毎日が充実していると感じる
週に5日は朝起きた時にやる事が明確である
自分の持つ力(能力)を發揮しながら生活できる